

もの忘れ外来のご案内

医療福祉センター 倉吉病院

1. もの忘れ外来とは・・・？

もの忘れが気がかりな方の外来です。もの忘れは、高齢になれば誰でも出てきます。もの忘れも老化現象による緩やかな発生は心配ありません。ところが、認知症と呼ばれる脳や身体の病気が原因で起こるものは、進行も早く、治療が有用であることが多いのです。このように「もの忘れ」が自然なものか、病気によるものなのかを診断し、必要ならば治療を行う外来です。

2. どんな検査を行うのですか・・・？

症状により異なる場合がありますが、基本的には以下のような検査を行います。

	検査名	検査内容
①	神経心理学的検査	記憶の検査です。もの忘れの程度などを検査します。
②	画像検査	脳の形態を見る検査です。頭部CT・MRIなどがあります。
③	血液検査、尿検査	肝機能検査・腎機能検査・脂質検査・血糖値・甲状腺機能検査等

3. どんな診察があるのですか・・・？

最初に上記検査を行った後、医師による問診でこれまでの経過などを聞かせていただきます。できれば、ご本人の生活状況をよく分かっておられる身近な方と一緒に来ていただくと、情報が多くなり診察に役立ちます。

4. 治療はどんなものがありますか・・・？

もの忘れの中でも、治療可能なものは原因に応じて治療が行えます。アルツハイマー病は、現時点では根本的な治療はできませんが、薬によって病気の進行を遅らせることができます。症状の進行を予防する薬を内服していただくこともあります。治療についても御相談に応じます。

5. 早期診断、早期治療の重要性

たとえ認知症でも、早い段階で治療を始めれば進行を遅らせることができます。早期診断、治療をお勧めします。どうぞお気軽にお問い合わせ下さい。また、かかりつけ医との連携もおこなっていきますので、ご来院時にはかかりつけ医院の情報提供書をお持ちください。

<予約制について>

もの忘れ外来の受診はすべて予約制です。お申し込みは、前週の金曜日までに お願いします。※月～金曜日の午前8:30～午後5:30に直接あるいはお電話にてお受けします。

<連絡先>

社会医療法人仁厚会 医療福祉センター倉吉病院

〒682-0023 鳥取県倉吉市山根43番地

Tel 認知症疾患医療センター(0858)26-1015

倉吉病院地域連携室 (0858)26-1190

(0858)26-1011(代表)・26-1088(外来アゼリア直通)

FAX(0858)26-1339(外来アゼリア)・26-4794(代表)



こんな症状をいくつか感じたり、 どれかが半年以上続いていたらご相談ください。

- 何度も同じ事を言ったり、尋ねたりする。
- 物の名前が思い出せない。
- しまい忘れや置忘れがある。
- 時間や場所の感覚が不確かになってきた。
- 慣れている場所で道に迷った。
- 薬の管理ができなくなった。
- 以前あった物事への感心や興味が失われた。
- 水道の蛇口やガスの元栓の閉め忘れが目立つようになった。
- 財布を盗まれたとあって騒ぐ。
- 以前よりひどく疑い深くなった。
- 複雑なテレビドラマの内容が理解できない。
- 計算の間違いが多くなった。
- ささいなことで怒りっぽくなった。

